

第1回「The thirties KVBCメンバーズクラブ」  
企業家精神を育む！第1回「The thirties KVBCメンバーズクラブ」  
企業家精神を育む！

去る7月28日、次代を担うリーダーの研修と情報交換を目的に、第1回「The thirties KVBCメンバーズクラブ」が開催されました。講師は、(株)アポロ総合経営の杉原潔氏。KVBC会員企業から30代の幹部候補生14名の参加者があり、ディスカッションを交えながら、起業家精神をはぐむポイントなどについて研修が行われました。



## 講師プロフィール

## ●杉原 潔

(株)アポロ総合経営 代表取締役

大阪府立大学経営工学科卒業後、(株)村田製作所で製造・品質管理・生産技術などを担当。昭和63年、(株)アポロ総合経営を設立。経営コンサルタントとして活躍する。京都市ベンチャー企業目利き委員会企業診断員など役職多数。

企業経営という荒波を  
乗り越える5つのポイント

将来、会社を背負うリーダーになろうという人材は、企業経営とはどのようなものであるか自分なりに知っておく必要があります。私は、あらゆる経営活動は航海にたとえることができるのではないかと思います。航海（企業経営）に大切なものは、①船長（経営力）、②方向（経営戦略）、③積荷（商品力）、④乗組員（従業員）、⑤船体（企業基盤）の5つ。この5つの要素について、経営者を目指す人はそれぞれそ寝食を忘れて考えなければなりません。

まず1つ目の『船長』としての役割ですが、自らリーダーとして先頭に立つということです。多くの人は「なぜ私が（この仕事を）やらなければならないの？」と考えますが、経営センスのある人は「私にやらせてください」というポジティブな発想を持っています。もう1つのポイントは、社長をよく理解し、やる気にさせるということです。社長（上司）を徹底的に理解し、信頼を勝ち取ろうとする姿勢が大切です。

2つ目の『方向』というのは、「何を、どこへ、どうやって売るか」を常に知っておくということです。いつも社長のそばに寄り添って会話を交わし、どういうものを作って、どこに、どのようにして売ろうとしているのか、社長と同じ目線で考えなければなりません。

3つ目のポイントは『積荷』。ものを選ぶ基準・選ばれる基準には、Quality（品質）、Cost（コスト）、Delivery（納期）があります。私たちはこの「QCD」に基づいて、いろんなものを選択しています。安かろう悪かろうでは、ものは絶対に売れません。「QCD」を同時に追求し、「きっと良いものが作れるはずだ」と考えるのが経営センスのある人です。

4つ目の『乗組員』ですが、「自分は自分、他人は他人」と考える従業員は、組織の中の自分の役割と存在を理解できない人です。仲間と心を通い合わせ、どのようにすれば協力してくれるかを考えることが大切だと思います。

最後の5つ目の『船体』というのは、「会社を儲けさせる」「会社の信用を傷つけない」「会社の技術力を向上させる」ということ。特に、「技術」というのは会社の生命線です。営業マンであれ、経理担当者であれ、商品を企画する力、システムを生み出せる力を常に磨いておかなければなりません。以上、5つの要素について、自分なりにしっかりと考えたことを持っておくことが、優れた経営センスを養うことにつながるのです。

乗組員（社員）の役割は、  
船長（経営者）を奮い立たせること

では、社長をやる気にさせる（起業家精神をかき立たせる）方法とはどのようなものでしょうか。これには8つの要素があります。



参加者一人ひとりが“長所”“短所”について語る

まず、(1)『やる前にできないと言わない（オウム返しに“できない”と言わない）』。どうすればいいのか。やればできるという挑戦者の心を持ってトライしてほしいと思います。(2)『同じことを何度も言わせない』。同じことを何度も言われるということは、社長がその仕事に満足していないからです。一度言われたことは、打てば響くがごとくきちんと対応していただきたいですね。(3)『感謝の心を持つ』。例えば、新年会や忘年会、レクリエーションなど、社長が使ってくれた「時間」と「お金」に対して、「ありがとうございました」の一言を忘れないこと。社長だから当たり前なんだと考えてはいけません。

(4)『言われたことをすぐにきちんとやる』。飲みに行く予定をキャンセルしてでも、その日のうちに答えを出すようにする。仕事を後回しにせず、すぐにも片付けようと思えること。(5)『良き理解者になってあげる』。社長や上司と価値観を共有するように努力する。ときには、おべっかや愛想を使っても構わないと思います。(6)『会社のお金を大切に使う』。私用で会社の電話を使わない、私用で事務用品を使わない。自分のお金ならもったいないと思うような使い方をしないこと。(7)『自ら進んであいさつする』。“春風以接人（春風をもって人と接する）”という言葉があります。リーダーを志す人は、誰かと会ったときに「何とさわやかな…」と印象づけるような表情をつくるのが大切です。(8)『整理整頓する』。整理整頓というのは、心の有りようを反映したものです。“美”を好む心はすべての人が持っています。美の心が雑事で覆われていると、心に余裕がなくなってしまうのです。

さて、社長をやる気にさせるポイントをいくつか挙げてきましたが、皆さんが考える重要ポイントとはどのようなものでしょうか。そして、すぐに実行しなければならぬことは何でしょうか。今一度、じっくりと胸に手を当てて考えてみてください。



杉原先生による講義の様子



参加者同士で最高の笑顔づくりを練習

QCD評価で自己の強みと  
弱みをチェック

“売れる”商品づくり、システムづくりのポイントは、「品質（Q）」「コスト（C）」「納期（D）」であるということは先ほどお話ししました。実は、人間についても同じです。人格を判断する基準として、この「QCD」を活用することもできます。例えば、人間の品質を外面的に言えば「美しい礼儀作法」、内面的に言えば「偽りのない誠実さ」。納期を外面的に言えば「約束を守る厳格さ」、内面的に言えば「いち早く対応する優しさ」ということになります。素晴らしい人、素晴らしい仕事、素晴らしい製品が、素晴らしい会社をつくってくれるのです。このQCDを自分自身に当てはめ、それぞれの強みや弱みを知るきっかけにしてください。

本日お話ししたことは、リーダーを志す人にとって、非常に重要なことばかりです。ぜひ、明日から会社で実践していただきたいと思います。



講座後の交歓会の様子

## The thirties KVBCメンバーズクラブ 世話役3名

アド・プロヴィジョン(株)取締役 営業本部長 西田 周平 氏

第1回のThe thirtiesクラブ！ 研修会も交流会も真剣そのものでした。特に交流会では、今後ますますの盛り上がり期待できそうな方々とわかり、安心？いたしました。このような次世代の集まる機会が少なかっただけに、「出会い」を大切にしていきたいと思えます。

サツマ通信工業(株)技術部 技術課 萩原 俊明 氏

この「ザ・サーティーズ」の研修会に参加する機会を与えていただいたことに感謝いたしております。この会を通して業界を超えた友人ができ、さまざまな勉強をさせていただけるのではと大変期待しております。よろしくお願ひ申し上げます。

(株)スリーエース 総務部 松山 言氏

こういった場をつくってくださったことに感謝し、少しでも運営にご協力できればと考えています。いろいろな職種、立場の同年代の方々と交流を持てることを楽しみにしています。

□

□

□

□